

博士人材のキャリアパスの多様化に向けた URAの可能性

日時：2017年6月29日（木）14：00～16：00

講演① URAの仕事と求められる能力の多様性

NISTEP第2調査研究グループ 上席研究官
荒木 寛幸氏



講演② URAとして働く際の博士人材の優位性 ～岡山大学を事例に～

岡山大学エグゼクティブアドバイザー・名誉教授
山本 進一氏



司会&モデレーター

大阪大学特任准教授・NISTEP客員研究官
門村 幸夜氏



6月22日（木）13：00までに、
下記アドレス宛に、ご氏名、ご
所属を添えてお申込みください。
尚、会場の都合により出席者を
調整させて頂く場合があります。

【参加のお申込み先】

NISTEP第1調査研究グループ
seminar-1pg@nistep.go.jp

会場：科学技術・学術政策研究所大会議室
(文部科学省中央合同庁舎第7号館東館16F)



科学技術・学術政策研究所
National Institute of Science and Technology Policy

博士人材のキャリアパスの多様化が求められている。

そこで、博士人材の活躍が期待される「職」の選択肢の一つとして、URAを取り上げる。
本講演会では、URAの現状と課題、及び博士人材のURAとしての活躍事例をもとに、URA
が博士人材の中長期的なキャリアパスとなる可能性について議論する。